

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第14週 (ARIのみ第13週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (14週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	男	肺結核	その他
4類	レジオネラ症	日向	70歳代	男	ポンティアック熱型	発熱、呼吸困難
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	ショック、軟部組織炎、中枢神経症状、その他
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、咳、嘔吐、肺炎、菌血症
	百日咳	宮崎市	5~9歳	女	—	持続する咳
	60歳代		女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、白血球数増多、肺炎	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 310 人(定点当たり 19.2)で、前週比 80%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は水痘、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。

また、第 13 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,106 人(定点当たり 39.5)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 51 人(3.4)で、前週比 94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 1.4 倍であった。年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

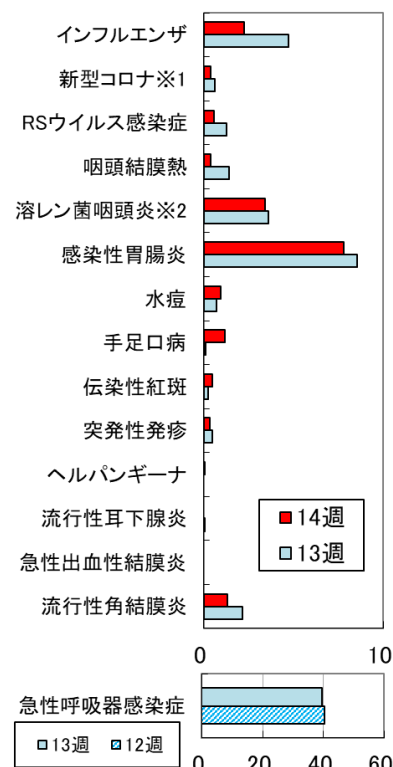
報告数は 117 人(7.8)で、前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.3)の約 0.8 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

【水痘】

報告数は 14 人(0.9)で、前週比 127%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.45)の約 2.1 倍であった。年齢群別は 1 歳以下が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

《前週との比較》

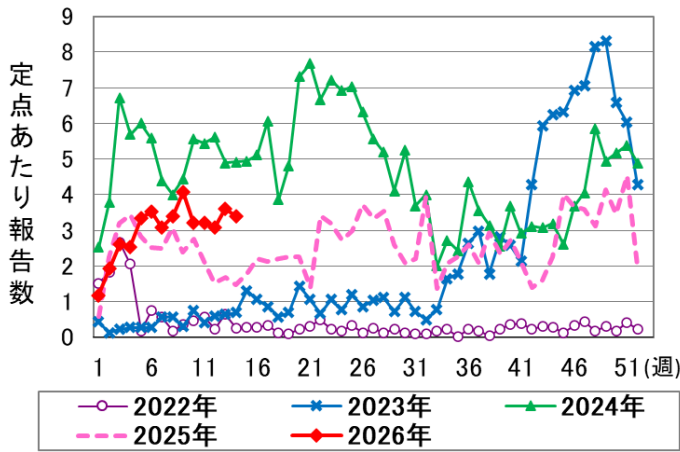


定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

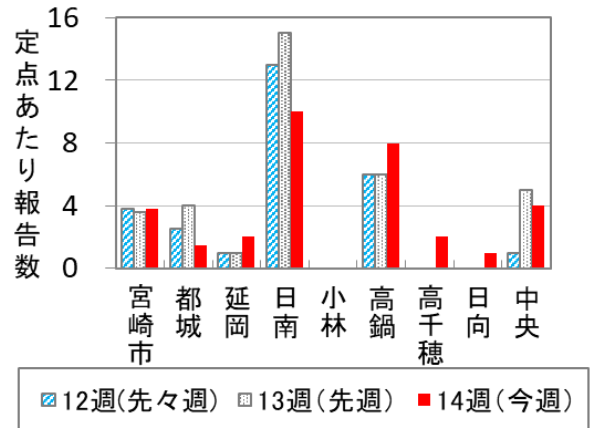
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

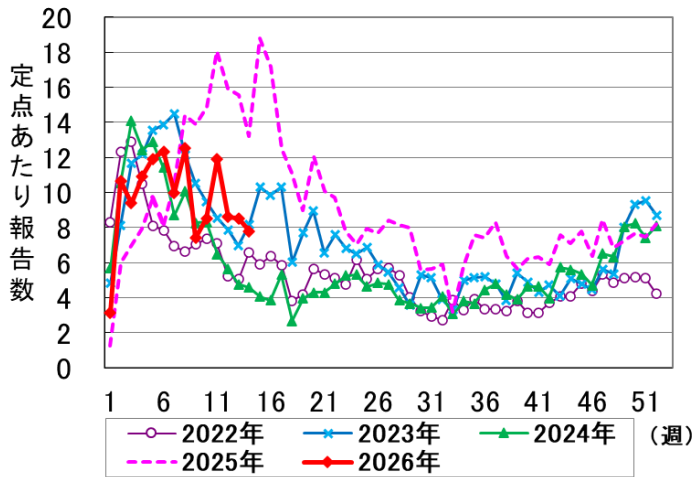


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)

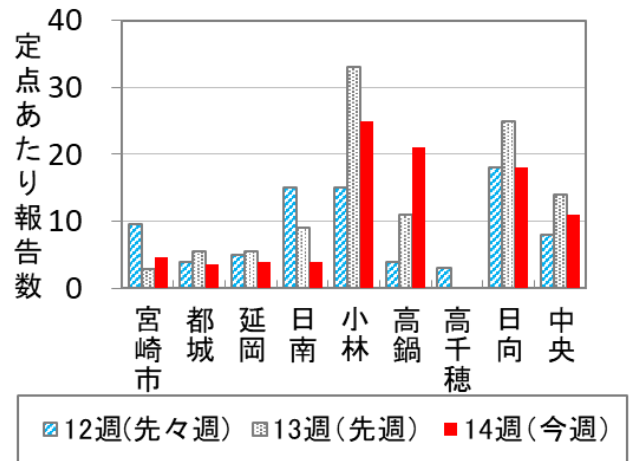


感染性胃腸炎 発生状況

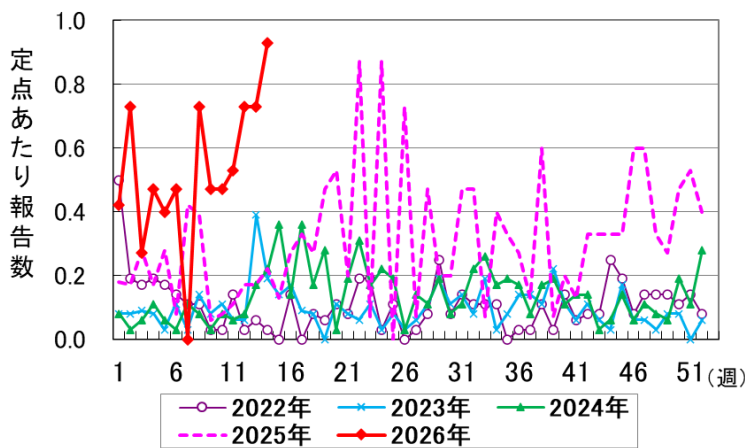


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

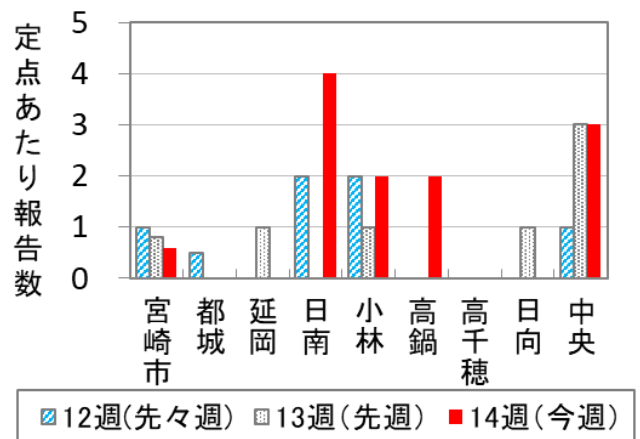


水痘 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

水痘 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)、 水痘(4.0)、伝染性紅斑(2.0)
小林	感染性胃腸炎(25.0)、水痘(2.0)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、 感染性胃腸炎(21.0)、水痘(2.0)、手足口病(9.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)
(2026年第13週:3月23日～3月29日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	1
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		0	
RSウイルス	A型	1	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	1	
	2型	0	
	3型	1	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		1	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		1	
検出せず※2		6	
受付検体数		12	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス
検体について、急性呼吸器感染症サーベイ
ランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を
実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、
呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上
の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性
的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外
来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されな
かった検体数を計上

✚ 全国 2026 年第 13 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	233 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	43 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	7 例	エムボックス	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例
	日本脳炎	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	14 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	12 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	25 例
	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例	水痘(入院例)	9 例	梅毒	157 例
	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	77 例	麻しん	30 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 83%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 97%とほぼ横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,828 人(2.5)で前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 1.2 倍であった。北海道(6.9)、福岡県(6.2)、鳥取県(6.1)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 12,730 人(5.5)で前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.4)の約 1.0 倍であった。島根県(11.0)、石川県(10.9)、愛媛県(10.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第14週(03月30日～04月05日)

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	132	63	18	12	5	9	4	3	4	3	5
	定点当り	4.71	2.25	2.00	3.00	1.67	4.50	2.00	1.50	2.00	1.50	2.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	17	11	1		4	1	2	2			1
	定点当り	0.61	0.39	0.11	0.00	1.33	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	19	9	2		5			2			
	定点当り	1.27	0.60	0.40	0.00	2.50	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	21	6	5							1	
	定点当り	1.40	0.40	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	54	51	19	3	4	10		8	2	1	4
	定点当り	3.60	3.40	3.80	1.50	2.00	10.00	0.00	8.00	2.00	1.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	128	117	23	7	8	4	25	21		18	11
	定点当り	8.53	7.80	4.60	3.50	4.00	4.00	25.00	21.00	0.00	18.00	11.00
水痘	報告数	11	14	3			4	2	2			3
	定点当り	0.73	0.93	0.60	0.00	0.00	4.00	2.00	2.00	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	2	18	8					9			1
	定点当り	0.13	1.20	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	9.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	4	7	3	1	1	2					
	定点当り	0.27	0.47	0.60	0.50	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	7	5	2		1	1	1				
	定点当り	0.47	0.33	0.40	0.00	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	13	8	2		6						
	定点当り	2.17	1.33	0.67	0.00	6.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第13週(03月23日～03月29日)

		第12週	第13週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1128	1106	286	92	201	45	84	102	56	147	93
	定点当り	40.29	39.50	31.78	23.00	67.00	22.50	42.00	51.00	28.00	73.50	46.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～14週 保健所受理分)

2類感染症	結核	35例(2)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	3例					日本紅斑熱	1例		
	レジオネラ症	2例(1)										
5類感染症	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例(1)					後天性免疫不全症候群	1例		
	侵襲性肺炎球菌感染症	5例(1)	水痘(入院例)	3例					梅毒	14例		
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例					百日咳	29例(2)		
	麻しん	1例										

()内は今週届出分、再掲